

こだわりの意匠性と自在パターンで個性を演出する 目隠しルーバー「ヴェロニカ」新発売

本ページに掲載されている情報は発表当時のものであり、
最新のものと価格・仕様が異なる、もしくは販売が終了している可能性があります。

最新情報をご確認ください。

[最新情報を見る](#)



正面、裏面、側面の意匠性に配慮しつつ、自在パターンで変化のあるルーバーラインを演出できる、目隠しルーバー『ヴェロニカ』を新発売しました。

背景

近年、銀座や表参道などでは、新しいブランドショップが軒を連ね、いずれも著名建築家の設計で話題を集めています。これら建築物の特徴として、個性的なファサード（正面外観）デザインを取り入れる傾向があります。ファサードデザインはショップのシンボルとして、また広告媒体として、重要な役割を果たしています。

時代に求められる目隠しルーバー

外装目隠しルーバーは、いまや単に光や視線を遮るだけでなく、「ファサード意匠」・「裏面意匠」といった建築の重要な要素として、静かなブームを起こしています。

『ヴェロニカ』は意匠性に充分配慮した目隠しルーバー。外見はクセがなくシンプルなのに、細部に造形美を感じさせつつ、裏面や側面の仕上げにも配慮しています。360度どこから見ても美しいマルチフェイスルーバーです。

『ヴェロニカ』の特長

端部処理不要のルーバー本体

ルーバー本体は、小型でユニークなX字状アルミ製押出型材2タイプ。切り放しても美しく納まるため、フタを取り付けるなどの端部処理（負荷コスト）が不要です。





ヴェロニカ：美しい切り口



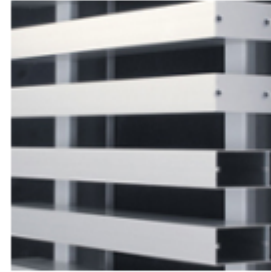
従来品：フタ処理が必要

自在の取付けパターン

ルーバーの取付けは、胴縁の表面・裏面どちらでも可能です。取付け面を表面・裏面組み合わせることによって、凹凸のリズムを生み出し、ファサードデザインに変化を持たせることができます。



ヴェロニカ：
立体的な三次元ファサード



従来品：
単一な二次元ファサード

外壁ファサードプラン例



ボルトを隠すデザイン胴縁

いままで胴縁裏面に露出していた固定ボルトをカバーで覆い隠すため、すっきりとした胴縁を演出します。また、胴縁の四隅にはスリットを設け、軽やかでシャープな表情に仕上がります。C型チャンネル、L型アングル等、従来の胴縁のような重々しさが残りません。



ヴェロニカ：
裏面も正面と相違ない景観



従来品：
胴縁から固定ボルトが見える

安全性にも配慮

「応力分散ゆるみ止め固定」の採用によって、施工性を高めると同時に、固定金具のゆるみによるルーバー本体の回転・落下を防止し、安全性も高めています。

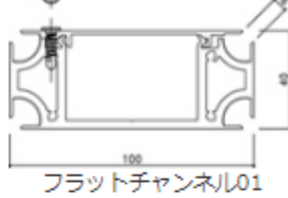
商品概要

ルーバー本体：2種類



デザイン胴縁：





材質：アルミニウム押出形材
表面処理：シルバーアルマイト、電解着色
※意匠登録、商標登録、特許出願中

材工設計価格（税別）

¥47,200/m²～（100m²基準）

おもな施工場所

店舗ビル、デザイナーズマンション等の外壁

[▶ お問い合わせ・カタログ請求はこちら](#)

2006.09.29掲載

-
- 掲載されております商品の表示価格は税抜き価格です。
 - 掲載されている情報は発表当時のものであり、最新のものと価格、品番、販売終了など情報が異なる可能性があります。ご了承ください。

[▶ 2006年度一覧へ戻る](#)